

第 2 回「社会保障の教育推進に関する検討会」 有識者プロフィール

藤川 大祐（ふじかわ だいすけ）氏

千葉大学教育学部教授（教育方法学・授業実践開発）。

1965 年、東京生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学（教育学修士）。金城学院大学助教授等を経て、2001 年より千葉大学勤務、2010 年より千葉大学教授。2010 年度千葉大学学長特別補佐。

メディアリテラシー、ディベート、環境、数学、アーティストとの連携授業、企業との連携授業等、さまざまな分野の新しい授業づくりに取り組む。

警察庁「バーチャル社会のもたらす弊害から子どもを守る研究会」委員（2006 年）、千葉県青少年健全育成計画策定委員会委員長（2006 年～2008 年）、千葉県青少年を取り巻く有害環境対策推進協議会委員（2007 年～）、文部科学省「ネット安全安心全国推進会議」委員（2007 年～）、安心ネットづくり促進協議会コミュニティサイト検証作業部会主査（2009 年～）、総務省「利用者視点を踏まえた ICT サービスに係る諸問題に関する研究会」青少年インターネット WG 主査代理（2010 年～）、東京都携帯電話端末等推奨基準検討委員会委員長代理（2011 年～）、NHK 教育テレビ「伝える極意」番組企画委員、NPO 法人企業教育研究会理事長、NPO 法人全国教室ディベート連盟常任理事、日本メディアリテラシー教育推進機構（JMEC）理事長等をつとめる。2005 年、千葉大学ベストティーチャー賞を受賞。

<著書・編著書>

『「個を育てる」授業づくり・学級づくり』学事出版、1993 年

『数学する教室』学事出版、1994 年

『授業に役立つインターネット・パソコン通信入門』学事出版、1996 年

『ディベートで学校はよみがえる』学事出版、1998 年

『「総合的学習」の実践アイデア集 1 国際理解・人権学習&情報学習編』学事出版、1999 年

『「総合的学習」の実践アイデア集 2 環境・地域学習&福祉・健康学習編』学事出版、1999 年

『すぐに使える授業アイデア！環境学習の実践事例集』学事出版、2000 年

『メディアリテラシー教育の実践事例集』学事出版、2000 年

『授業分析の基礎技術』学事出版、2002 年

『養護教諭のためのメディアリテラシーによる健康学習』学事出版、2003 年

『企業とつくる授業』教育同人社、2004 年

『やるぞ!! 中学数学ワークシート（1～3年）』学事出版、2004 年

『企業とつくるキャリア教育』教育同人社、2006 年

『企業とつくる食育』教育同人社、2007 年

『ケータイ世界の子どもたち』講談社現代新書、2008 年

『楽しく学ぶメディアリテラシー授業』学事出版、2008 年

『千葉発 企業とつくる先端キャリア教育』千葉日報、2008 年

『本当に怖い「ケータイ依存」から我が子を救う「親と子のルール」』主婦の友社、2009 年

『学校・家庭でできるメディアリテラシー教育』金子書房、2011 年

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/dfujikawa/>

藤原 和博（ふじはら かずひろ）氏

東京学芸大学客員教授／NPO 子供地球基金顧問／杉並区立和田中学校・前校長／
元リクルート社フェロー

1955 年東京生まれ。1978 年東京大学経済学部卒業後、株式会社リクルート入社。東京営業統括部長、新規事業担当部長などを歴任後、1993 年よりヨーロッパ駐在、1996 年同社フェローとなる。2003 年より 5 年間、都内では義務教育初の民間校長として杉並区立和田中学校校長を務める。08 年、橋下大阪府知事の特別顧問に。

<著書>

『人生の教科書 [よのなかのルール]』『人生の教科書[人間関係]』（ちくま文庫）など人生の教科書シリーズ、『リクルートという奇跡』、ビジネスマンの問題解決に必須の情報編集力を解説した『つなげる力』（ともに文春文庫）など多数。近著には戦略的に成熟社会を生きる必要性を説いた『35歳の教科書』（幻冬舎）や、40代以降の後半戦の生き方の教科書『坂の上の坂 55歳までにやっておきたい55のこと』（ポプラ社）。さらに家族論として長く父親、母親から評価の高い『父親になるということ』（日経ビジネス人文庫）がある。

日本の技術と職人芸の結晶であるブランドを超えた腕時計「Japan」（左竜頭、文字盤漆塗り）を諏訪の時計師とファクトリーアウトレット方式でオリジナル開発。ネットを使えば個人新聞社や個人放送局だけでなく個人マニュファクチャラー（生産者）も可能になることを証明した。

高校時代はバスケット部だったが、弱くてもっぱら強い女子バスケット部の相手をさせられた。いまはテニスに一所懸命。3児の父で3人の出産に立ち会い、うち末娘を自分でとり上げた貴重な経験を持つ。詳しくは「よのなか net」<http://www.yononaka.net> に。